

TA-7600VAMP™ テーパー型増幅器

Tapered Amplifiers

New Focus™
A Newport Company



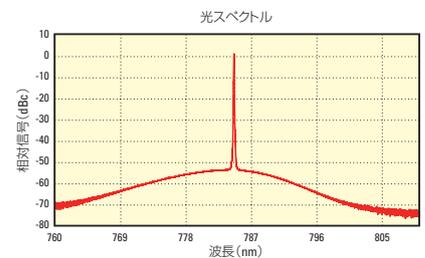
- 0.5-2 Wのパワー増幅
- 標準モデル
(765 nm、780 nm、795 nm、850 nm、915 nm)
- ファイバーカップル入力により、早く、簡易な、信頼性のあるアライメントを実現
- 入力電力モニタリングにより、レーザーがテーパー型増幅チップにダメージを与えないことを保証します。
- 波長および出力のカスタム化が可能
- お客様自身のシードレーザーまたは弊社のVortex IIをコンプリートMOPAシステムで使用。

New FocusのVAMP™シリーズのテーパー・アンプは、様々な赤外波長において最大で1 Wまでの増幅出力を供給するように設計されています。VAMPは、外部キャビティ・ダイオード・レーザー及びその他適切な波長の光源によって発生するチューナブル単一波長光を忠実に増幅します。

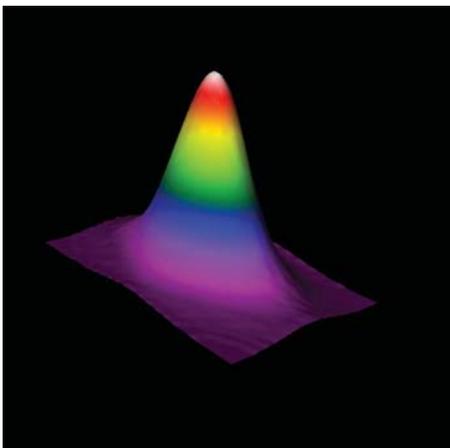
New Focus社のエンジニアリング・チームは、信頼性、使いやすさ、性能を兼ね備えたVAMPを設計しました。ファイバー・カップリング入力により、迅速で容易かつ信頼性のあるアライメントが実現されます。FC/APCファイバを使ってしっかりと接続するだけで準備が完了し、調整は不要です。アクティブな入力のモニタリングを通じて、自己レーザー放射によるテーパー・アンプ・チップの損傷が防止されます。出力ロックアップが出力をモニタし、レベル調整を行いますので、ラボ環境が変化したとしても一日中安定した低ドリフト出力が維持されます。単純なUSB駆動のGUIが必要とするすべての制御を可能にするものですが、期間限定でVAMPを便利に楽しく制御できるWiFi対応iPod Touchも同梱されています。

Vortex™ IIまたはVelocity™レーザーなどのような低ASE光源を使ってシーディングされた場合、VAMPは狭線幅と高いコントラスト比を忠実に再現します。VAMPはまた、多くのホームメイドECDLを含む他のシード光源も受け入れます。VAMPのシーディングに関する関連情報については、弊社までお問い合わせください。

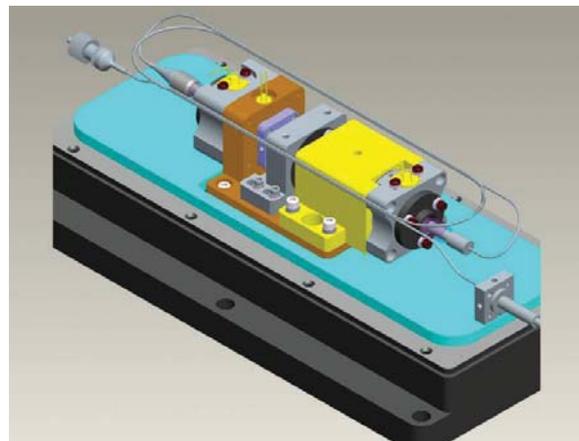
必要な波長がない場合にも、弊社までお問い合わせください。弊社はおお客様のご要望に対応できるよう常に改善に努めています。



VAMPにはASEを特別強く拒絶する特徴があり、ノイズに対する信号の改善がはかられます。



ビームプロフィール(60 cm)



VAMPテーパー型増幅器内部の図

定価は弊社ホームページ(www.newport-japan.jp)にてご確認ください

Newport®

New Focus
ファイバー・チューブ・
テーパー型増幅器

New Focus
チューナブル波長固定レーザー
VCSEL

半導体レーザー
カスレーザー

LD・TECコントローラ
LDシステム及びパルスシステム

レーザー・アキュセサリー

VAMP™仕様

	TA-7612	TA-7613	TA-7613-H	TA-7614-H	TA-7616	TA-7618
波長範囲(nm) ¹	755-775	775-785	779-790	787-805	825-855	910-920
中心波長(nm)	765	780	780	795	850	915
最大出力パワー ²	>1.5 W	>1 W	>2 W	>1.8 W	>1 W	>1 W
出力パワー (ファイバカップル) ³	> 0.5 W	> 0.5 W	N/A	>0.5 W	> 0.5 W	N/A
ビーム広がり(mrad)	<1.5	<1.5	<1.5	<1.5	<1.5	<1.5
最小入力(FC / ACコネクタ)	下記コメントを参照 ³					
ビームポインティング安定性	<50 mrad (±2°C)					
ASE(最大パワー)	< -45 dB(0.01 mm OSA解像度)					
長時間安定性(パワー、閉ループ)	<1%					
動作温度範囲(°C)	15-30					
最大入力(FC / ACコネクタ)	100 mW					
線幅	シードレーザーによる					
周波数ジッタ	シードレーザーによる					

¹ テーパ型増幅器であるTA-7600は、多くの波長で利用可能です。対象波長が不明な場合、詳細についてはお問い合わせください。
² お客様特有の波長のパワーについてはお問い合わせください。仕様(出力パワー以外)は、New Focus Vortex IIまたはVelocityレーザーがシードレーザーとして使用される場合です。
 指定出力パワーを得るためには最小のファイバカップルシードパワーが必要です。すべての仕様は、通知なしに変更されることがあります。
³ 最小シードパワーは、TA-7608では30 mW(300 mW出力パワーは、9 mW Vortex IIシードレーザーで実現可能)、TA-7612、TA-7616、TA-7614では15 mW、TA-7613、TA-7613-Hでは20 mW、TA-7618では10 mWで、最大指定パワー出力を達成します。テーパ型増幅器には安全シャットオフ機能があり、5 mW未満で作動し、テーパ型チップの損傷を防ぎます。

VAMPのシーディング

Vortex PlusレーザーやVelocityのレーザーなどの低ASEのシードソースによって、正確な狭線幅および高コントラスト比をVAMPで再現します。また、VAMPには弊社のECDLを含め、数多くのシードソースを使用できます。高精度のアライメントを確実に実現させるには、VAMPにファイバカップル入力が必要で



Vortex PlusおよびVAMP



VelocityおよびVAMP

Create Your All New Focus MOPA

New Focusには、最適なMOPA(Master Oscillator Power Amplifier)の作成するソリューションを用意しており、原子分光、レーザー冷却、およびBECの実験に必要なパワーを提供できます。

原子	シードレーザー	増幅器	電源	原子
Li	TLB-6908-P	TA-7608	0.4 W	671 nm
K	TLB-6913-P	TA-7612	1 W	767 nm
	TLB-6712-P	TA-7612	1 W	767 nm
Rb	TLB-6913-P	TA-7613	1 W	780 nm
	TLB-6913-P	TA-7613	2 W	780 nm
	TLB-6712-P	TA-7613	1 W	780 nm
Cs	TLB-6712-P	TA-7613-H	2 W	780 nm
	TLB-6917-P	TA-7616	1 W	852 nm

さまざまな組み合わせを利用できます。詳細についてはお問い合わせください。